

「聴いて・考えて・つなげる」通信



支援教育会議

今年から始まった支援教育会議です。支援学級担任の先生が中心となって、原学級の担任の先生が集まって学校全体の支援学級在籍の生徒の現在のことを共有しました。

のお話

今までのような職員会議での交流だけでは、担任の思いが伝わらないので今年から支援教育会議を持つことになりました。クラスづくりなどで工夫しているところの共有、情報、ベテランの先生からのアドバイス、若手からのフレッシュな意見などを交流していけたらいいと思います。支援の子どもを中心としたクラスづくりだけでなく、それぞれの子、一人ひとりを大切に、みんなに個別の支援をしていきたい。その中で、クラスづくり、仲間づくりは担任の先生にやっていただいて、支援担任としてその中でみんなが繋がれるように支援をしています。

担任の先生はもちろんクラスのつながりを考えてくださる。その中で支援の子にとって大切なことは周りの子どもとの関係。本当の支援は支援学級に在籍している子だけを見るのではなく、その周りの子にも支援をして、仲間づくりをしていくこと。支援の子頑張れ。周りの子頑張れ！なのだと思います。これからテスト、修学旅行や校外学習、と色々な行事が続く中で、子どもたちのつながりを大切に見守っていきましょう。

テストについて

- ・テスト範囲を教室掲示する際は「ここに掲示しておくよ」とフォローをお願いします。
- ・テスト範囲は学年通信で一枚で分かるようにするのが一番なのですが、別紙でも配布をしていただくとありがたいです。
- ・「漢字で書きなさい」という出題があります。教科によってそれも必要なことだと思いますが、テストで何を見取りたいのかを考えていただくと、必ずしも漢字で出題する必要もないかもしれません。その場合はご配慮いただけたらと思います。

Q1 今までの先生のご経験で心に残っていることはありますか。

A, 入り込みの時に支援の子がしっかりと授業を理解して参加できているのもうれしいのですが、周りの子が教えてくれている姿を見るとすごくうれしくなります。時々入り込みで生徒と話をしている盛り上がりすぎて「しゃべってるの誰だ！」と先生に怒られたことが何度かあります。ごめんなさい。

Q2 個別指導ってどんなことをしているの？

A, 放課後に残って宿題をしたりプリントの整理をしたりしています。

Q3 別室ではどんなことにとりくんでいるの？

A, 教科の先生が出されているプリントを一緒にやったり、簡単な問題集を使って学習をしたりしています。今は畑でトウモロコシと枝豆を栽培したり基礎Bでヒバカリという蛇を飼育しています。休み時間にクラスの子が来てくれて、おしゃべりしている姿を見るとうれしくなります。

Q4 インクルーシブ教育の良いところ 悪い所

A, クラスにいろんな子がいて誰もが助けたり、助けられたりということを学ぶことができるのが良いところだと思います。このことが将来社会に出たときに活かしたらよいなと思います。悪い所はインクルーシブ教育＝一緒にいるだけになってしまうとその子に必要な合理的配慮がおろそかになってしまうかも。なので配慮しつつ、「共に育つ」を常に考えています。

Q5 こんな一工夫を試してみたいのをお教えてください。

A, すでにして下さっている先生もおられますが、配布するプリントの右上などに「ノートに貼る」「ファイルに綴じる」「提出してからファイルに綴じる」などの指示があるととても分かりやすいかなと思います。



- 席替えで、入り込みしやすい席とそうでない席があるのですが、本人が集中できる席とできない席が、入り込みのしやすさと必ず一致しないので…むづかしいですね。
- 終礼で必ず全員の連絡帳をチェックしています。その時に一言保護者に向けて書くときもあります。
- 支援の生徒のみを見ているわけではありません。あくまで全体の先生として生徒とかかわる中で支援の生徒を見ています。
-



別室で生き物を飼ったり、畑でトウモロコシを育てたりしながら同じ学年の生徒や先生と話をしている話題になればいいなと思っています。よかったら、空いているときに様子を見に来てもらえると生徒も喜ぶと思います。

• 入り込みについては、全体の先生として生徒とかかわる中で支援の生徒もみるように心がけてはいるのですが、今でも生徒との距離感や声掛けのタイミングなどむずかしいなあと感じています。

• 別室で過ごしている生徒がクラスメイトや先生方と関わる時間をもつ中で、人とのつながりを楽しみ、いつか一步を踏み出すことができたらいいなと思っています。



• 複数のクラスに入り込みする時間もあるので、その場合は授業の中で何をしているかを注視しながら入り込みしていくようにしています。演習をしている時間などは意識して入り込みをしています。

• 支援生だけではなく、クラスの中には学習面でしんどい生徒も多くいるので全体のお助けマンという意識をもって授業に入り込みできるように心がけています。



- 入り込みの際は、各教科プリントの整理が苦手な生徒への声掛けや、解けない問題を一緒に解き難しい問題を解けたときの喜びを味わってもらえるように寄り添っていきけるように心がけています。
- 少しでも入り込みを通し安心して学校生活を送ってもらえるようサポートをしたいと考えています。

